

萎凋で爽やかなスミレ様の香りが際立つチャ新品種「ゆめすみか」

[研究のねらい]

- ・静岡県の茶栽培面積のうち約90%を「やぶきた」が占めており、香味の画一化や摘採期の集中などが問題となっている。
- ・一方、消費者の嗜好が多様化しており、特に若い女性は花様の香りを好む傾向が見られる(図1)。
- ・当センターでは、若い女性の嗜好に合うスミレ様の甘い香りを持つチャの新品種「ゆめすみか」を育成した(表1)。

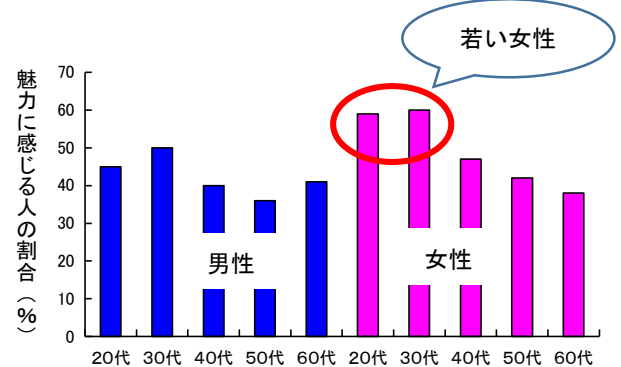


図1 花様の香りに対する嗜好※
※茶の開発コンセプトに対する評価

対象：静岡・東京 1000人
方法：インターネット
新成長戦略研究調査(H23)

[研究の成果]

○「香駿」を凌ぐ『香り緑茶』適性

- ・ほのかな花様の香りを持つ「ゆめすみか」は、萎凋(香り緑茶製法)により「爽やかなスミレ様の香り、甘いクリーム様の香り」が際立ち、香り+滋味の評価点を比較すると、香りが特長の品種「香駿」を上回る(図2)。
- ・甘い香りを呈する香気的主要8成分(合計)は、一番茶では「香駿」より5割程度多い(図3)。
- ・消費者の嗜好調査では、75%が「ゆめすみか」の香りを「好き」または「やや好き」と評価した(図4)。

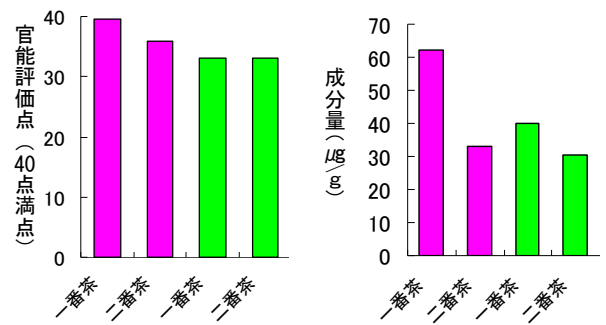


図2 香り+滋味の評価点

図3 香気的主要8成分量

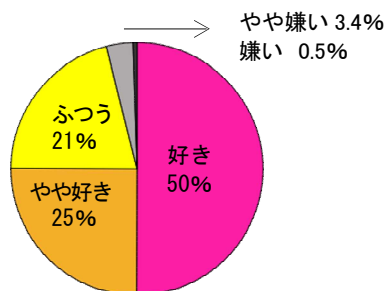


図4 「ゆめすみか」の香りの評価

対象：世界お茶まつり(2019)来場者
人数：207人

表1 静岡県で育成した香りに特長ある品種

品種名	香りの種類※	摘採期 (やぶきた比)
ゆめすみか	スミレ様の香り	±0日
しずかおり	バニラ様の香り	-2日
香駿	ハーブ様の香り	+1日

※「ゆめすみか」は香り緑茶、他は普通煎茶

○来歴及びその他特性

- ・交配：種子親♀「するがわせ」×花粉親♂「きょうみどり」
- ・早晚性：中生(一番茶摘採期「やぶきた」比±0日)
- ・樹姿：やや直立/樹勢：強
- ・耐寒性：赤枯れ『強』
- ・耐病性：炭疽病『やや弱』、赤焼病『やや弱』
- ・耐虫性：クワシロカイガラムシ『やや弱』
- ・収量性：成木『多』



図5 「ゆめすみか」の一番茶